

（1）保存地区の概要

地区名	甲州市塩山下小田原上条
種別	山村・養蚕集落
面積	15.1ヘクタール
選定年月日	平成27年7月8日

特徴

甲州市塩山下小田原上条地区は、甲府盆地東部に広く分布する養蚕に即して発展した独特の形式の民家が、周囲の畑地や自然環境とともにまとまって残り、養蚕が盛んであった頃の形態を良く残す山村集落である。明治時代に養蚕が主産業になると、江戸時代に建築された茅葺切妻造主屋には、特徴的な「突き上げ屋根」が付加され、昭和時代中期まで建築された養蚕推奨型の棧瓦葺切妻造主屋とともに、明治期以降の養蚕ぶりを今に伝えている。また保存地区は、地形を利用した神仏と村民の住み分けや、接点としての観音堂の集会所利用など、江戸時代から続く習慣が今も保存されている。



（2）保存地区のあゆみ

平成13年度 (2001)	財団法人都市農山漁村交流活性化機構の「茅葺民家数量把握調査」にて見出される
平成16年度 (2004)	財団法人日本ナショナルトラストによる観光資源保護調査着手(11月) 観光資源保護調査報告書『上条集落の切妻民家群』刊行(2月)
平成25年度 (2013)	甲州市伝統的建造物群保存地区保存条例制定(3月)
平成26年度 (2014)	甲州市伝統的建造物群保存地区保存条例施行(4月) 「甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区」の都市計画決定及び伝統的建造物群保存地区保存計画の告示(2月) 重伝建地区選定の申出書提出(3月)
平成27年度 (2015)	国の文化審議会開催 重伝建地区選定の答申(5月) 官報告示 『甲州市塩山下小田原上条重要伝統的建造物群保存地区』選定(7月8日) 重伝建地区選定報告会の開催(1月)
平成28年度 (2016)	甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存対策調査に着手
平成29年度 (2017)	全国伝統的建造物群保存地区協議会 関東・甲信越静ブロック会議及び研修会開催(8月)

(3) 保存地区の保存と整備

① 上条重伝建地区サイン計画調査等業務（平成27年度）

重伝建選定を受け、保存地区を訪れる見学者用に案内板及び見学ルート誘導板を設置した。



見学ルートを設定することにより、日々生活されている住民のプライバシー保護を図りながら、保存地区内の魅力を伝え、快適に散策していただくことが可能となった。



重伝建地区の説明板

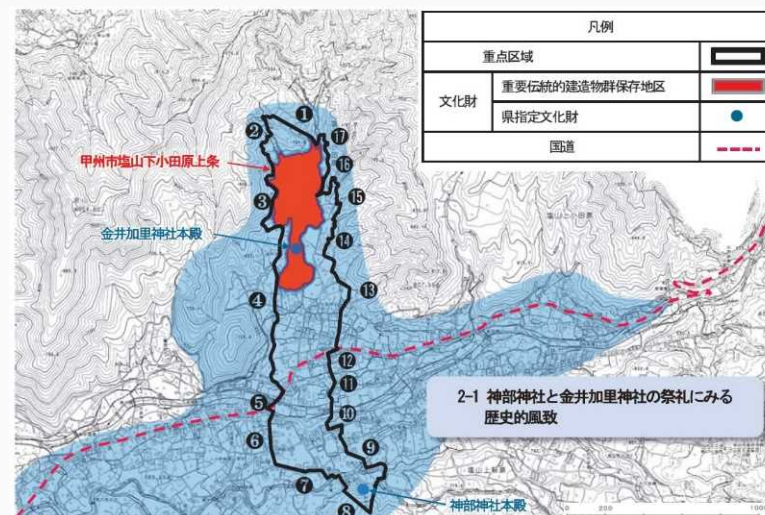


見学ルート誘導板

② 「歴史まちづくり法」に基づく整備（平成29～38年度）

「甲州市歴史的風致維持向上計画」が平成29年3月に国の認定を受け、各種事業の展開を計画している。

保存地区内は重点区域に設定することにより、駐車場整備や公衆トイレの設置などの見学者の利便性を高める事業や、電線地中化などの景観を良好に保つ事業を実施予定。



甲州市歴史的風致維持向上計画・重点区域「神金地区」

③ 伝統的建造物群基盤強化事業（平成28年度～）

保存地区を災害から守るため、防災設備を設置するにあたり、保存地区及び建造物の防災上の特性を調査し、防災計画を策定する。

防災計画の内容については火災だけでなく、急傾斜地における土砂災害や地震などの対策についても講じる。

今後、建造物の修理・修景事業を推進し、歴史的な町並みを後世に継承していくための方策を定め、同時に地区住民の防災意識の向上を図る。



ボーリングによる地質調査



地元消防団へのヒアリング

(4) 保存地区の活用とまちづくり

① 来訪者の増加とまちづくり

重伝建選定を受け、マスコミ等の注目度が高まり、見学者や各種団体等の視察が増加した。

市教育委員会主催の集落見学会を隔月で開催するなど、保存地区の歴史や特長、伝建制度について説明を行っている。また、地元団体と市が協働して、イベントを開催している。



③ 景観形成協働事業

「甲州市歴史的風致維持向上計画」に基づき、景観形成協働事業を行っている。

平成29年3月には、保存地区内のガードレールを白色から景観配慮色（甲州ブラウン）へ塗装する事業を地元団体と市が協働し、ボランティアを募り実施した。



② 上条報告

保存地区の円滑な保護および保全を地区住民と市が一体となって行っていくために必要な情報を、「上条報告」として保存地区内の全戸および上条に関係する個人・団体に提供している。

重伝建選定以前の平成21年6月から毎月、保存地区内の出来事、他の伝建地区や伝建に関する研修・講演会の内容等を掲載し、市教育委員会文化財課が発行している。

④ 神金小学校児童の地域学習

地域の歴史について理解を深めるため、毎年夏休み期間中に「上条地区歴史探訪」を実施している。

調べた内容に写真やイラストを織り交ぜながらまとめ、その成果を学校行事や地元のシンポジウム等で発表することで、身近にある保存地区の歴史の再認識につながっている。



上条地区歴史探訪



神金シンポジウムでの発表

(5) 住民等の取組

① 上条を活性化する会（平成29年3月発足）

人口減少・少子高齢化が進む中で、上条地区を活性化するため、地元有志が集まり発足。

平成29年の活動実績

景観改善事業として、観音堂前のごみステーションを移設。また、市と協働でガードレールを白色から景観配慮色へ塗装する事業を実施。

環境美化活動として、花壇、ひまわり畑を整備。

保存地区の周知・活性化のため、一般参加者を募り、野菜の収穫祭を開催。



景観改善事業 実施前



実施後



ひまわり植え替え



ダイコン収穫祭

② NPO法人山梨家並保存会（平成18年6月設立）

歴史的景観の保全に関する事業を行い、原風景を守り育てていく文化を興すことに寄与することを目的に設立。

これまでの活動実績

観音堂保存修理工事（平成21年1～4月）

甲州民家情報館整備工事（既存民家の改修復元工事・平成21年3月～平成22年1月）以降、農村体験施設として、維持管理・運営を行っている。また、地域振興に寄与するイベントを企画し、積極的な情報発信を行っている。



工事中の甲州民家情報館



整備完了後



茅葺きワークショップ



情報館でのほうとう作り体験